

## 社会福祉法人純正福祉会 青葉はるまち保育園

### 平成 29 年度事業報告書

#### 1. 保育実績 (のべ人数)

	計画	実績	増減
保育日数	295 日	295 日	—
平均保育人数	120 名	133 名	11 名
利用児童総数	35,400 名	39,304 名	3,904 名
対定員充足率	100%	110%	10%
延長保育人数	3,500 名	4,592 名	1,092 名
(内日日延長保育人数)	—	695 名	—
一時預かり保育人数	500 名	331 名	△169 名
公開保育利用者数	250 名	340 名	90 名

#### ○平成 29 年度保育状況

年齢 /月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
0 歳児	9	9	10	13	16	16	16	16	16	16	17	18	172
1 歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	19	17	234
2 歳児	24	24	24	24	24	24	22	23	23	22	22	22	278
3 歳時	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
4 歳児	27	27	27	27	27	27	27	28	28	28	28	28	329
5 歳児	22	22	22	22	22	22	22	24	24	24	24	24	274
合計	128	128	129	132	135	135	133	137	136	135	136	135	1599

## 2. 保育内容について

### (1) 生活を中心とした一人一人の育ちを大切にしています。

長い保育時間のなかであって、子どもが不安やストレスを抱えることなく、子どもの表情や行為、声の調子、思いなど未熟な表現に保育者は応え、寄り添いながら「子どもは一人の尊重すべき人格者」として、子どもなりに自分を発達させようとする力と可能性を引き出すように援助しています。

そのために、保育の方法として、特定の保育士の愛情深いかかわりが基本的な信頼関係形成を促すということに基づき、また、保育者も一人一人の子どもをより理解できるために3歳未満児は、保育者の担当制を取り入れています。

3歳以上児は3,4,5歳児の異年齢保育を取り入れている。これは、クラスを大きな家族としてとらえ、子ども自身が刺激し合って、仲間を尊敬したり、思いやったりすることや大きな子は小さな子を助けることによって自信が湧き意欲へとつながり、小さい子は大きな子のすることを模倣したり、身近な人から教えてもらうことによって早く大きくなりたいという努力、意欲をもつようになるといった保育効果を考慮しているからです。

このような日々の取り組みのなかで、家庭を含めた24時間の日課を考慮し、ていねいに育児にかかわり、安定した生活を促すようにしています。

### (2) 本物に出会い、触れることを通して多様な経験をし、成長、発達を促しています。

風、水、土、雨、植物、絵画、音楽など本物に触れ、五感を使って様々な体験をしながら運動機能の発達や知的な好奇心、思考力、認識力、創造性を育てています。また、様々な体験のなかで、子どもの成長に重要な達成感、挫折感、葛藤、充足感などの感情を味わえるようにしています。

- ◆具体的事例
- ①食器は陶器を使用し、食材はより自然食品、おやつは手作りにしている。
  - ②見る環境として油絵、版画などを園内に配置している。また、年長組は美術鑑賞として博物館などを見学する。
  - ③毎年行う子どもたちの音楽会では、ボランティア、大学、高校などのブラスバンドなどに来てもらい親子で聞く。
  - ④『環境教育』として、〈子どもから親への発信〉をテーマに自然事象・社会事象などを観察し、知る楽しさを学ぶことや清掃活動などの体験を通じて、家庭での話題となり身近な地域の環境美化に関心を持たせ、豊かな心情を持つ子どもの育成を図っている。

### (3) 『応答的保育』を実践し、子どもが自ら考え、行動できるように援助しています。

『応答的保育』とは、子どもの発達観を心理学者J・ピアジェやJ・M・ハントの流れをくむ人間発達の相互作用説である認知発達心理学に基づくものであります。これは、子

どもは人間を含む環境とのやりとりで成長・発達するという考えを基盤にし、人間は、もちろん子どもを含めて、外から賞や罰を与えられなくとも、自分のもっている能力や発達のレベルより「少し程度高い」あるいは「少し複雑な」環境や刺激に接するとき、自ら興味を持って行動するというものである。

つまり、『応答的保育』、子どもの教育、子どもの保育において環境からの応答性を重視する保育です。その保育は、子どもの遊びのなかで、おもちゃや物の応答性をどう考え、準備するか、また、保育士や保護者が「ことばによる応答」でどう対応するか、さらには、「心の応答」によって共感的心情をどう作りだしていくかといったことから構成されています。

『応答的保育』を行うことによって、子どもは言葉をはじめとした知的な能力、自発性、意欲、他者への信頼感が培われていくことを目的としています。

- ◆具体的事例
- ①子どもが主体的に生きること。一人一人がやりたい活動に指示や命令など条件づけられた生活ではなく、十分に子どもが自己発揮して主体的に取り組むことができる。
  - ②適切なズレをもった物理的環境の準備
  - ③遊びなどの活動に必要なものがいつも一定のところに置いてあり、繰り返し出来る。
  - ④人的環境のなかで大きな役割を果たす異年齢保育の実施。
  - ⑤保育者が目立たない。

### 3. 園行事等について

○別紙参照《青葉はるまち保育園 平成29年度年間行事表》

### 4. 施設整備について

○ 固定資産物品	木製遊具「マルチーズ」	258,000 円
	調理器具 キッチンエイドミキサー	118,800 円
	鉄製遊具 うんてい <del>鉄棒</del>	378,000 円
	給食管理ソフト「わんぱくランチ」	180,572 円
	事務パソコン	178,200 円
	防災倉庫	161,000 円

### 5. 平成29年度 苦情解決結果について

※ 特に苦情・要望はありませんでした。

### 6. その他について

#### (1) 安全管理

- 防災訓練 毎月1回避難訓練、年1回消火、通報訓練を実施しました。
- 健康管理 園児・職員の定期診断及び全職員の細菌検査を毎月実施しました。健康管理には最善の注意を払い、伝染病については最善の処置を行ってきました。
- 衛生管理 危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を行いました。

## (2) 地域交流

- ・ 敬老週間に地域の高齢者、園児の祖父母の交流会として今年も実施しました。  
(参加人数 118名)
- ・ 地域公開保育を毎月木曜日に行い、地域交流を行いました。  
(総参加人数 340名)
- ・ 乙仲原東地区の秋まつりに、3歳・4歳・5歳児が参加しました。会場にてお店屋さんごっこを行いました。

## (3) 実習生・ボランティア

- ・ 大学の受入校 (3校) 4名
- ・ 専門学校の受入校 (1校) 16名
- ・ 給食実習(大学1校) 1名
- ・ 高校の受入校 (1校) 8名
- ・ ボランティア

≪芋掘り (10月)、クリスマス会のサンタクロース (12月)、門松作製 (1月)、絵本の読み聞かせ (毎月1回)、九州プロレスによるプロレスラー慰問 (2月) ≫

平成 29 年度 年間行事表 青葉はるまち保育園

日時	行 事 名	内 容
4 月 4 日	第 5 回入園のつどい	第 5 回目の入園式 新入園児 31 名
5 月 24 日	歯科検診	嘱託医 原町駅前歯科 中村優介先生 9:30~
5 月 10 日	内科検診	嘱託医 大坪医院 大坪庸子先生 13:00~
5 月 25 日	第 5 回親子ふれあい遠足	海の中道海浜公園にて親子で楽しむ
6 月 12 日 ~19 日	保育参観週間 クラス懇談会	クラス懇談会 12 日はな組・13 日そら組・ 15 日たんぼぼ組・16 日 2 組・19 日 1 組
6 月 16 日	味噌作り	あいわ農園松尾氏指導 5 歳児味噌作り
7 月 14 日	交通安全教室	交通安全協会より 2 名 10:00~
8 月 24 日	スイカ割り	3・4・5 歳児 (スイカ割りを園で楽しむ)
9 月 8 日	敬老会	在園児祖父母 118 名参加による園児との交流会 クラスで孫や園児と遊んでもらう 9:30~
9 月 16 日	第 5 回みんなで チャレンジ運動会	粕屋町総合体育館メインアリーナにて全園児参加 による運動会開催 9:20~12:30
10 月 17 日	内科検診	嘱託医 大坪医院 大坪庸子先生 13:30~
10 月 21 日	乙仲原東区秋まつり参加	地域の秋祭りに 3・4・5 歳児が参加 子ども広場にて (16:00~17:30) ・遊戯 3 曲披露 ・夜店 (販売体験)
11 月 10 日	歯科検診	嘱託医 原町駅前歯科 中村優介先生 9:30~
11 月 16 日	芋ほり会	永野家芋畑にて、さつま芋の収穫 5 歳児参加
12 月 15 日	秋の遠足	福岡市科学館 公共機関を使って 5 歳児
12 月 21 日	門松づくり	門松制作を見学 2・3・4・5 歳児
12 月 25 日	クリスマス	サンタクロース来園 (保護者のボランティア)
1 月 12 日	つどいあおば会リハーサル	サンレイク さくらホールにてつどいあおば会 のリハーサルを行う
1 月 13 日	第 5 回つどいあおば会	第 5 回つどいあおば会 さくらホールにて 3・4・5 歳児による 合唱、オペレッタ、合奏 精華短大生 4 名による楽器紹介・演奏
2 月 2 日	節分	赤鬼、青鬼来園 (保育士による)
2 月 23 日	卒園遠足	卒園児 24 名 太宰府天満宮、九州国立博物館 引率: 園長・上野・河野・東司
2 月 24 日	入園説明会	平成 30 年度保育説明会 (継続児対象) 13:30~
3 月 2 日	めんたいワイド撮影	4・5 歳児 グループに分かれて踊る
3 月 3 日	入園説明会	平成 30 年度入園説明会 (新入園児対象) 13:30~
3 月 18 日	4 園合同研修会	研修会 (講師: 掛札氏・高山氏)
3 月 24 日	第 5 回卒園式	卒園児 24 名 卒園式
3 月 31 日	保育修了	平成 29 年度保育修了

平成29年度 社会福祉法人純正福祉園内研修

青葉はるまち保育園

研修名・日時・会場	参加者数	課題もしくは内容	講師
乳児園内研修 29年4月27日 青葉はるまち保育園	8名	・子どもの日課とクラスの日課 ・育児における大人の連携	中島侑子
乳児園内研修 29年5月25日 青葉保育園	1名	・新人保育士に一番伝えたいことは ・相手の立場にどれだけいたてるか	中島侑子
乳児園内研修 29年5月30日 青葉桐の花保育園	1名	・三項関係 ・子どもが泣く理由 ・子どもの遊びに対する大人の関わり	中島侑子
幼児公開保育 29年5月31日 大和保育所	1名	・基本的な生活習慣や丁寧な振る舞いを身に付ける ・植物や昆虫の飼育を通して、生命の大切さを感じる ・鉄棒や平均台を使い、支持力や平衡感覚を養う	
乳児わらべうた研修 29年6月7日 青葉桐の花保育園	1名	・実技研修 「おんまさんのおけいこ」「こーぶろ」 「ぎっこばっこひげば」「ととけっこー」	児玉敦子
乳児園内研修 29年6月20日 大和保育所	1名	・子どもの発達にあった遊び ・子どもが集中して遊べる環境	中島侑子
幼児わらべうた研修 29年6月21日 青葉桐の花保育園	5名	・実技研修 「すいかばたけに」「いもむし」 「ゆうびんはいたつ」「いちばちとまった」	児玉敦子
乳児園内研修 29年7月6日 青葉はるまち保育園	5名	・子どもの行為や仕草言葉に注意し肯定的に関わる ・姿勢維持、転換などの筋力発達を促す	中島侑子
幼児公開保育 29年7月12日 青葉保育園	1名	・衣服の着脱について知らせ、丁寧に出来るようにする ・静かな雰囲気を感じながら線上歩行を行う	
幼児公開保育 29年7月24日 青葉はるまち保育園	5名	・水の性質を生かした遊びを通して、水に触れ水を感じて楽しむ	
乳児園内研修 29年8月24日 青葉桐の花保育園	1名	・各クラスリーダーの観察と分析 ・気になる子どもへの関わり	
幼児公開保育 29年8月31日 青葉桐の花保育園	1名	・ドアの開閉の仕方を知り、丁寧に出来るようにする ・絵具を使って表現することを楽しむ ・汗をかいた時の対処法を考え、健康な体をつくる	
乳児園内研修 29年9月13日 大和保育所	1名	・子どもの遊びの条件(環境・時間・道具)について ・大人の連携	中島侑子
乳児園内研修 29年9月21日 青葉保育園	1名	・未経験保育士に対するアプローチの方法 ・客観点条件の準備について	中島侑子
乳児わらべうた研修 29年11月1日 青葉桐の花保育園	11名	・実技研修 「しろきやの」「おさらになまごに」 「うしぬばんそれぞれ」「ひとりふったり」	児玉敦子
幼児公開保育 29年11月8日 大和保育所	1名	・世界の文化に興味を持つ(民族衣装について) ・動きの一つ一つを丁寧にし、落ち着いた気持ちで生活する	
幼児わらべうた研修 29年11月15日 青葉桐の花保育園	5名	・実技研修 「こーもりこい」「ほおずきばあさん」 「りょうしさん」「ねこがごふくやに」	児玉敦子
乳児園内研修 29年11月22日 青葉桐の花保育園	1名	・三項関係(大人と子どもと物又は大人) ・観察の視点と分析	中島侑子
乳児園内研修 30年1月18日 青葉保育園	1名	・子どもを主人公にした援助 ・仲間関係の形成の段階	中島侑子
乳児園内研修 30年1月25日 大和保育所	1名	遊びの観察(子どもの遊びの主体性) 育児の観察(子どもの能動性)	中島侑子
幼児公開保育 30年1月30日 青葉保育園	1名	・資源の大切さやごみの減量について考える ・私達が住んでいる那珂川町について知り、暮らしている土地に親しみが 持てるようにする。	
乳児園内研修 30年2月13日 青葉桐の花保育園	1名	・待つ時と手を差し伸べる時を考える	中島侑子
幼児公開保育 30年2月15日 青葉はるまち保育園	5名	・食材に含まれている栄養について知り、食への関心を高める	
乳児園内研修 30年2月16日 青葉はるまち保育園	6名	・一人一人が大切に育てられるために	中島侑子
幼児公開保育 30年2月22日 青葉桐の花保育園	1名	・園庭にある木々の冬芽に興味を持つ ・福岡県の位置や特産品、建物について知る ・平昌五輪について知り、関心を高める	
四園合同研修 30年3月18日 ソラリア西鉄ホテル	19名	・「学びを支える環境づくり」 ・「言葉をはっきり口にする:保育の安全と核」	高山静子 掛礼逸美

※園長・主任・中堅保育士勉強会を年4回行っている。